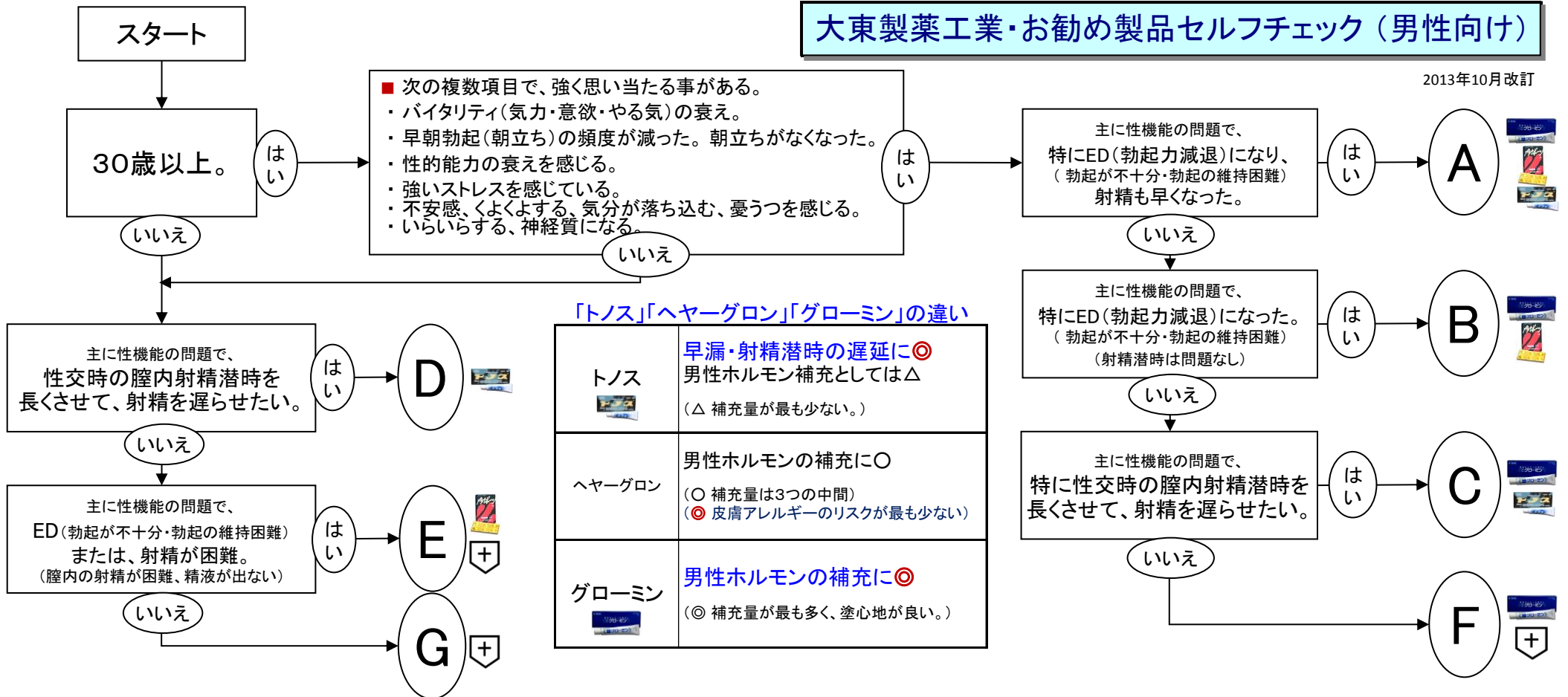


大東製薬工業・お勧め製品セルフチェック (男性向け)

2013年10月改訂



タイプ	トノス	ガラナポーン	グローミン	ヘヤーグロン	タイプ別の対応方法
A	◎	◎	◎	○	男性ホルモンの分泌低下による性機能の衰えが考えられますので、まずは毎日「グローミン」を陰嚢部に塗布して男性ホルモンの補充をお試し下さい。対症的には、性交前に「ガラナポーン」を服用して心因性EDに対応し、「トノス」を亀頭冠に塗布することで射精潜時の遅延をめざします。
B	×	◎	◎	○	男性ホルモンの分泌低下による勃起力の衰えが考えられますので、まずは毎日「グローミン」を陰嚢部か顎下、腹部に塗布して男性ホルモンの補充をお試し下さい。対症的には、性交前に「ガラナポーン」を服用して心因性のED(勃起不全)に対応します。
C	◎	×	◎	○	男性ホルモンの分泌低下による射精機能の低下が考えられますので、「グローミン」(または「トノス」)を陰嚢部に塗布して男性ホルモンの補充をしたうえ、性交の際には「トノス」を亀頭冠へ塗布して射精潜時の遅延に対応します。
D	◎	×	×	×	性交前に「トノス」を亀頭冠へ塗布して、射精潜時の遅延に対応します。ホルモン補充(陰嚢部への塗布)は不要です。
E	×	◎	×	×	特に心因性のED(勃起不全)や、腔内での射精が困難であれば、「ガラナポーン」の服用で効果が期待できます。ホルモン補充は不要です。なお、重症の自覚がある場合や、本剤が効かない場合は、性機能外来のある泌尿器科を受診して専門の医師にご相談下さい。
F	×	×	◎	○	男性ホルモンの分泌低下が考えられますので、毎日「グローミン」を陰嚢部か顎下、腹部に塗布して男性ホルモンの補充をお試し下さい。1ヶ月経過しても全く改善しない場合は本剤の使用を中止し、2日以上おいてから男性更年期やLOH症候群に対応できる医療機関(泌尿器科・心療内科など)を受診して下さい。
G	×	×	×	×	ED、早漏、腔内射精障害以外の性機能障害につきましては、性機能外来のある泌尿器科を受診して専門の医師にご相談下さい。30歳未満で男性更年期症状がある場合も、泌尿器科や男性更年期やLOH症候群に対応できる医師の受診をお勧め致します。